

心と体のバランスを大切に

2007年10月に開院1周年を迎えた産科・婦人科「響きの杜クリニック」。院長の西谷先生は、女性の病気を心と身体の両面からサポートしているドクター。漢方はもちろん、クリニックとしては珍しいホメオパシー、フラワー・エッセンスなどの代替医療を取り入れ、幅広い診療を行なっている。癒しの効果にこだわった居心地のいい院内の2階には「ひびきホール」「音楽共鳴療法室」「天然温泉薬石浴 嵐の湯」などの施設もある。



人間の自然治癒力を引き出す

「東洋医学は心と体は一体という考え方です。症状として出てくるのは体のサイン。これを無視してしまうと体は壊れてしまう。その体のサインをしっかり見極めることもこれからの医学には大切なこと。人間は自然治癒力があります。それを無視せずに最大限引き出したい。その治療法が代替医療の中にあると思います。もちろん、西洋医学を否定するのではなく、良い部分を取り入れていくという考え方です」。

代替医療を取り入れることは必要

西谷先生は西洋医学でできることが限られていると考え、漢方などを治療に使っていくうちに様々なものを取り入れるようになったという。「西洋医学は診断の技術は進んでいるのですが、治療技術は進歩していません。例えばなんだか調子が悪いと病院を訪れても検査で異常がなければ病気ではない、というのが西洋医学の考え。その症状を改善する薬は処方できて原因がわからないから根本的に治ったということにはならないんです」。

病気のみかけを治すのではなく自分の力で治すことを大切にしたい。色々な引き出しでその選択肢を広げてあげたい

西洋医学と東洋医学の融合

「病気を心と体全体からとらえて治療し、病気にならないためのからだをつくるのが大切です。婦人科の多くの病気はストレスが発症のきっかけになっていることが多いのです。ストレスを受けると体は反応し、それを中和しようとしませんが、緩和できなくなると表に出てきます。クリニックでは西洋医学的診断と治療を基本としますが、患者さんの意向を聞きながら自然治癒力の発揮に重点をおき、バランスの崩れを是正します」。



患者さんを対象に行なう気功

気になる人

北海道内で活躍している人、おもしろいことをやっている人などちょっと気になるあの人にインタビュー。

響きの杜クリニック院長
西谷 雅史



居心地のいい空間を意識した待合室

治療の一つに気功もある

“気”というのはとても大切なものです。気を充実させることが病気の治療にも役に立つと考え、クリニックでは気功も行なっています。僕自身15年気功をしていますが、その効果は日々体で感じます。気功をすることで気力が充実するんですね。気功をはじめバッチフラワーなど代替医療は僕が行ないます。患者さんを丸ごと診ることが必要だからです。気功をはじめてすぐ元気になったという方はたくさんいるんですよ」。

Profile

1956年東京生まれ。北海道大学医学部卒業、医学博士、日本産科婦人科学会認定医、日本東洋医学学会専門医、日本ホメオパシー医学会認定医、元札幌厚生病院産科主任部長、ホロトロピック・ネットワーク札幌代表、西野塾札幌同好会代表、玄心流日本拳法師範。2006年10月響きの杜クリニック開院。札幌厚生病院での1500例以上の手術の執刀経験を生かして女性にやさしい手術を心がけている。

響きの杜クリニック

札幌市中央区南2条西27丁目1-9
TEL.011-632-8331
http://hibikinomori.jp
診療時間/月・火・木・金9時~12時30分、15時~18時30分
水・土9時~12時30分
休診日/日曜・祝日 予約制

11月1日より嵐の湯スタート

「“嵐の湯”をはじめたのも治療のためです。選び抜いた15種類の薬鉱石と天然温泉の力で大量発汗します。温泉を玉石にかけるとミスト状になり、体の芯から温まります。温熱療法は最近、癌の治療法としても注目されています。体の芯を温めることは免疫を高めることにつながります。代替医療を実践して、データを出す、それが僕の役目だと思っています。どんなによくても結果を出さないと医学界に広まっていかないのでから」。